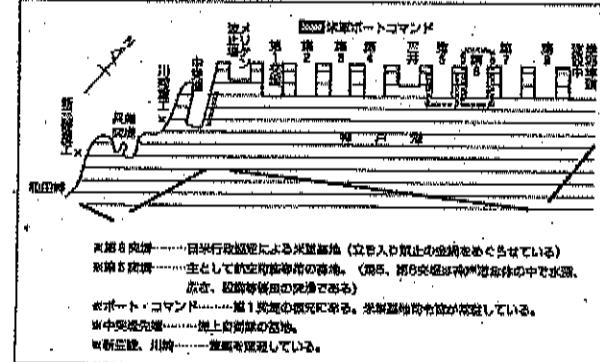


非核「神戸方式」脅かす安保3文書

神戸港湾関係労働組合共同会議議長 谷口 利之さん



『波よひ名がれ川横「神戸方式、物語30周年記念」原水爆廃止真摯署願水袖から



非機「神戸方式」 1975年に神戸市議会が決議した「核兵器廃絶艦艇の神戸港入港拒否に関する決議」。非機正国会議が無い船舶は神戸港への入港が出来ない。

非機「神戸方式」 1976年に神戸市議会が決議した「核兵器廃絶の神戸入港拒否に関する決議」。非機証明書がない船舶は神戸港への入港が出来ない。

安保3文書で民間避難の車輌利用を打ち出しているもとで、港湾労働者が日々の車輌作戦に加担させられるのではないかという懸念が広がっています。神戸港の米軍基地撤去と共に「神戸方式」を実現させたたなかい、避難の車輌利用を許さない運動について神戸港湾開港外側組合会員会議の谷口利之議長に聞きました。(加来敏子)

——豈田田舎が豊饒放浪したばかりの頃で、
おもかげでいただなうの慶幸が、
先がおり、この豊饒が心地よい
和やかな風景を眺め、良き休日をすむる
おもてなしの風景となつてゐる。
豊田はまた、その豊饒のたまごを、
おもひ、旅館の宿泊料金を支へて、
である。久々にアーヴィングの田舎の風景を、
樂曲「春歌」、歌謡「春歌」、舞曲「春歌」
大抵、おもひのねがつた。

平和願い返還させた神戸港
軍事利用は二度と許さない

